

2019年度 大阪行岡医療専門学校長柄校 学校評価

○実施学科

臨床検査科
放射線科
鍼灸科
整復科

○実施時期

自己評価：2019年4月
学校関係者評価：2019年5月～6月

○学校評価の方針

自己評価結果の公表方法		
各学科、「学校法人行岡保健衛生学園 自己評価表」に基づいて、自己評価を実施している。評価項目については、「専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省生涯学習政策局：平成25年3月）」を参照して定めている。 なお、自己評価結果については、学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」 www.yukioka.ac.jp で公表している。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
各学科、「学校法人行岡保健衛生学園 学校関係者評価 評価表」に基づいて学校関係者評価を実施している。評価項目については、「教育理念・目標」、「学校運営」「教育活動」、「学修成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の受け入れ状況」「法令等の遵守」「社会貢献・地域貢献」、「法人運営・財務」の10項目である。 また、評価委員会については、各学科の専門分野における業界関係者（就職先・実習先施設、業界団体、職能団体役員）、学校運営に関する専門家（学校マネジメント）、卒業生より人選している。 なお、学校関係者評価結果については、社会のニーズを踏まえた実践的な職業教育機関としての使命を果たすべく、組織的・継続的見直しのための客観的な指標として活用している。併せて、公的な教育機関として、社会的説明責任を果たす観点からも、学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」 www.yukioka.ac.jp で公表している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
看護専門学校教学部長	都度	学校運営に関する専門家（マネジメント）
短期大学教授	都度	教育関連
歯科医院	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
歯科医院	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
医療機関	都度	業界関係者（産業界、就職先、実習先）
医療機関	都度	業界関係者（産業界、卒業生）

医療機関	都度	業界関係者（産業界、就職先）
整骨院院長、同窓会役員	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
整骨院院長、職能団体役員	都度	業界関係者（産業界、職能団体）
会社役員、同窓会役員	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
整骨院代表、同窓会役員	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
学校関係者評価結果の公表方法		
学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」 www.yukioka.ac.jp で公表している。		

以上

行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：臨床検査科

記入者：北條 達雄






1. 学校の教育目標

2. 学科の教育目標

- (1)臨床で必要とされる医療知識、技術を修得し、さらにコミュニケーションをとり他職種との連携、共同をはかることができる医療技術者を育成する。
- (2)医療従事者として求められるマナーの修得をする。
- (3)より実践的な医療知識、技術の修得をめざし、講義、実習を充実させる。
- (4)学生に還元するため、教職員のスキルアップの向上をめざす。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4  2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	 3 2 1

①課題

学生指導は一部の学生にのみまたは該当保護者と面談をしているが、ほとんどの保護者には成績の連絡等を書面にて行っている。

②今後の改善方策

保護者との連絡を密にするため電話連絡または面談を行う。

③根拠資料

④特記事項

- ・他職種との連携、共同をはかることができる医療技術者を育成するため、1年次より行岡病院にて臨床検査科の他、放射線科、理学療法科などの見学実習もお願いしている。
- ・医療従事者として求められるマナーの修得するため、学外より講師を招き、接遇などのテーマでガイダンスを実施している。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4  2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4  2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4  2 1

①課題

教員の資質向上を図る目的での学外研修、または学外講師を招いての学内研修はされていない。

②今後の改善方策






より一層のスキルアップの向上を図るため、教職員の外部研修の受講を奨励していく。

③根拠資料

④特記事項

厚生労働省指定規則に基づいたカリキュラムを策定し、適正な教育を行っており、その到達及び学習時間は確保されている。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4  2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4  2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4  2 1

①課題

卒業生との交流は希薄であり、卒業生全体と密な連絡が十分に取れているとはいえない。

②今後の改善方策

教職員が世話役となり同窓会の組織を立て直し、卒業生全体の交流の場とする。

③根拠資料

④特記事項

臨床検査技師国家試験対策講義、模擬試験など免許取得にむけ指導を十分に行っている。また、就職に向けても外部講師による就職対策ガイダンスの時間をもうけ、就職に対する指導を行っている。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4  2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4  2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4  2 1
・保護者と適切に連携しているか	 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4  2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4  2 1

①課題

- ・学生が求人担当者または担任と相談せず、2 または 3 者の就職先を受験、合格、内定をうけ、先様に迷惑をかけた事例がある。
- ・保護者と連絡が取りにくい。また、子弟の学業に熱心でない保護者もおられる。このことから、成績、出席不良に該当する学生保護者すべてとは面談をできていない。

②今後の改善方策




- ・学生に社会規範についてのガイダンスを行う。

③根拠資料

④特記事項

- ・担任制を実施しており、学生の指導、相談は主に担任を中心に副担任を交え対応している。
- ・就職求人票は閲覧方式をとっている。学生が就職試験受験を希望すれば、求人担当者が担任と共に相談にのり、進路をきめていく。
- ・成績、出席状況については担任より保護者に電話連絡をしている。また、特に成績、出席の芳しくない学生の保護者とは面談を行っている。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	 3 2 1

①課題

- ・2年次のインターンシップは希望者のみを対象としているので、全員ではない。また、希望の医療機関より断りを受けることがある。さらに、受け入れが可能であっても、感染症に対する抗体価測定、ワクチン接種による費用が問題となる。

②今後の改善方策



- ・インターンシップは希望者のみを対象としているが、全員が希望の医療機関で現場を見学実習することにより、モチベーションが上がることが予想されることから、より一層推奨したい。

③根拠資料

④特記事項

- ・2年次夏期休暇中にインターンシップを実施し、医療現場を確認している。
- ・年1回の防火訓練を実施している。

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

①課題

- ・オープンキャンパスなどの実施日、内容を広報に於いて、いかに広く志願者に認識してもらうかが課題となる。

②今後の改善方策

- ・オープンキャンパスなどにおいて、参加していただいた志願者、保護者に対し、より正確にかつわかり易く、授業内容、資格に関する事項、業務内容等を説明する努力が必要である。

③根拠資料

④特記事項

- ・広報委員を中心に、科員が高校訪問などで適切な学生募集活動を行っている。
- ・オープンキャンパスなどにおいて、授業内容、資格に関する事項、業務内容等を示している。
- ・入学選考方法は学生募集要項に明記しており、適切かつ公平な喜寿に基づき行われている。また、面接については、1対1面接ではなく、複数の受験生にたいし複数の担当者で実施している。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1



①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

- ・指導調査により平成 29 年、30 年度入学生に入学定員について口頭指導がなされた。

②今後の改善方策


- ・平成 31 年度入学生は指導調査を鑑み、定員遵守した。

③根拠資料

④特記事項

- ・平成 30 年 12 月に大阪府健康医療部保健医療室による指導調査が実施された。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

- ・臨床検査技師会において、献血のボランティア活動を行っている。

2019年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 2019年6月1日（土曜日）、6月4日（火曜日）

場所 大阪行岡医療専門学校長柄校

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 放射線科

評価者： 実習先・卒業生

【講 評】

- 原理を学ううえで古い装置が必要な場合もあるが、全体的に装置が古く医療現場との差が大きい。
- 単位数が多く、土曜日まで授業を行っているので、時間的な余裕が少ないと思われるが、ボランティア活動や地域貢献をもう少し行った方が良い。

【課 題】

- エックス線装置など高額な装置を早急に入れ替えることは難しいので、しっかりと計画を立て更新していく。
- 幾つか「不適切」の評価があるので、それらの項目を改善する。

以 上

行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：放射線科

記入者：福澤 宏省

1. 学校の教育目標

教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧術、柔道整復に関する理論と実地技術を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師を養成して、人類の福祉に寄与することを目標とする。

2. 学科の教育目標

最新の技術と知識と、そして心をモットーに理工学の基礎を養い、高度な技術や最先端の医療に対応すべく知識そして医療人としての自覚とやさしさを備えた診療放射線技師の養成を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

理念や目的を考慮し、日々進化する装置に対応できるようにし、国家試験の合格率を向上させる。

②今後の改善方策

最新の装置・技術に対応できるように専門性の高い医療スタッフを集めるとともに、学生の数学力や思考力を高める。

③根拠資料

国家試験合格率(平成30年度合格率 全国 79.2% 本学 76.7%)

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 ② 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・就業規則や給与に関する規程が配付されていないことがある。
- ・書類の電子化率は高いが共有率が低く効率が良くない。

②今後の改善方策

ファイルサーバーを導入するなどし、共用電子書類の保存場所を集約する。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 ①
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

カリキュラムは系統的に学習できる構成となっており、授業評価も実施しているが、その評価体制が確立されていない。

②今後の改善方策

さらに系統的に学習でき、学生の理解がより深められるようにカリキュラム構成を逐次見直し、外部関係者からの評価他、評価体制を確立すると共に教職員の能力開発のための研修などを設ける。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

①課題

国家試験合格率向上のために努力しているが、思うように成果が上がらない。また、卒業生の進路は卒業時調査以降の把握ができていないため学校教育活動に活かされていない。

②今後の改善方策

資格の意味や重要性を充分理解させ、学習意欲を向上させることによって国家試験合格率向上につなげる。また、同窓会と連携し卒業生の動向の把握を努めると共に同窓会などが開催する学術大会に在校生も積極的に参加させる。

③根拠資料

同窓会学術講演案内

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 3 ② 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 ①

①課題

進路・就職については現状では大きな課題はないが、求人数が減少傾向にあることを考えると支援体制をさらに充実させる必要がある。

②今後の改善方策

就職支援については簡単な就活マナー講座を1回実施しているが、回数を増やしより深い内容の講座を開催したり、学校内での病院(企業)説明会などを実施したい。

また、女子学生が定員の3～4割程度であるが、女子学生が相談をし易い女性教員を確保したい。

③根拠資料

マナー講座レジュメ

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

①課題

実験・実習設備の老朽化が激しく、特にエックス線装置については医療現場とのギャップが大きい。病院における臨床実習施設については充分確立しているが、海外研修やインターンシップなどは行っていない。

②今後の改善方策

エックス線装置関係は高額であるので頻繁に更新することは困難であるが、長期的な計画で医療現場とのギャップが大きくなるないように更新していく。海外研修やインターンシップ等についてはライセンスの関係上、実施が難しい。

③根拠資料

自衛防災訓練計画書

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

オープンキャンパスなどで、国家試験合格率を伝えており、学生募集は概ね適切に行われていると考えているので、課題は特にない。

②今後の改善方策

18歳人口が減少しているので、募集対象、募集方法などを時代に合わせて見直していく。

③根拠資料

学校パンフレット・募集要項

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 ①

①課題

授業評価は全学生に行っているが、自己点検・自己評価まで十分に及んでいない。

②今後の改善方策

学生の客観的評価を参考にし、自己評価を行い問題点を改善していくと共に成果を公表していく。

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 ①
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

①課題

全科目が必須のため、月曜日から土曜日まで授業があり、施設を活用した社会・地域貢献やボランティア活動の時間や日程が限定されてしまう。

②今後の改善方策

学校周辺の清掃活動のように授業の前や後で行えるボランティア活動を実施するなどして地域貢献を行う。すでに健康増進法により学校喫煙禁止のため担当を決め学校周辺を巡回している。

③根拠資料

④特記事項

行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 鍼灸科

記入者：西口 陽通

1. 学校の教育目標

鍼、灸、あん摩マッサージ指圧の理論と実地技能を身につけ鍼、灸、あん摩マッサージ指圧師として、その品性を陶冶し、他の職種との医療従事者と協同して、社会で活躍できる人材を輩出し、人類の福祉と健康の保持増進に寄与する。

2. 学科の教育目標

現代医学および、鍼、灸、あん摩マッサージ指圧の理論と技術を身につけ、幅広く疾病及びその予防に対応できる能力を教授する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 ② 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

①課題

保護者への周知が少ない

業界のニーズに触れることが少ない

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 ② 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 ② 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 ② 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 ② 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

①課題

どのように就職先の内容を知らせるか
既卒者へ国試対策に取り生んでもらう
学生のニーズ、悩み、要望などを把握する
卒業生との交流の場を持つ

②今後の改善方策

もっと卒業生との意見交換の場を

③根拠資料

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 ② 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

②今後の改善方策

資料閲覧をもっとし易くする

③根拠資料

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

①課題

一部設備が古い、手洗い（給湯設が貧弱）
海外研修を計画していく必要がある

②今後の改善方策

③根拠資料

毎年防災訓練をしている

④特記事項

語学学習の充実の必要がある

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

国試の結果、実技評価試験の結果が十分には伝えられていない

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 ①
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 ①

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

①課題

同好会をもっとオープンにしていく

②今後の改善方策

③根拠資料

腰痛予防講座

④特記事項

小規模ながら希望者にあん摩指圧、鍼・灸などの同好会がある

行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：整復科

記入者：田中勇二

1. 学校の教育目標

2. 学科の教育目標

本科は「柔道整復師法施行令」および「柔道整復師学校養成施設指定規則」（以下「指定規則」）に基づき教育活動を行っている。また本学園の基本理念である「協同」を基に学科の方向性を位置づけ、確かな技術と知識を習得させ柔道の理念を活かして豊かな人間性を築き、責任と誇りをもって患者の前に立てる柔道整復師を育成することにより地域貢献することを目標としている。カリキュラムについては、指定規則で規定されている教育内容の単位数以上の単位を取得させるとともに、本校独自の実技教育を実践し、業界をリードする教育レベルを確保すべく努めている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 (3) 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 (3) 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 (3) 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 (3) 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	(4) 3 2 1

①課題

多様化する業界のニーズに合うように、外傷に対して適切な対応ができるよう、また時代の変化に適応できるようにするために基本的な知識・技術を習得させるのは元より、専門的知識以外の知識も修得できるように環境整備して行きたい。

②今後の改善方策

教員自身が業界や社会のニーズについて調査し検討をしていきたい。またそのことを業界や周囲にもっとアピールして学生の就職活動にもつなげたい。

③根拠資料

学生募集パンフレット、学則、シラバス

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

①課題

基本的なカリキュラムは指定規則に基づき編成しているが、加えて卒業後すぐに役立つ実践力および人間力を身に付けさせるために更なる教育体制、方法、カリキュラムの向上充実を目指す。

②今後の改善方策

さらに業界関係者および関連団体や柔道整復学校協会加盟校、大学等との関係を構築し、今まで以上に綿密な意見交換を行い、さらなるカリキュラムの錬成に努めたい。

③根拠資料

柔道整復師学校養成施設指定規則、柔道整復学校協会教員研修会プログラム、学則、シラバス、OSCE 評価表

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

①課題

本校は柔道整復師養成校であることから、課程自体がキャリア教育そのものである。教育指導内容については学科方針や時代のニーズなどを踏まえ、都度必要に応じて改善する余地はあるものの、現状は一定の成果はあげられていると考えている。しかし卒業生については全ての進路を把握できていない為、実効性の検証については十分とはいえない。今後は卒業後の進路についてもフォローしていく必要はある。

②今後の改善方策

学生が卒業後の姿を想像しやすいような状況を作り上げて行くために更に業界との繋がりを強化して行く必要がある。また、同窓会を通して業界との交流を深めて行く。

③根拠資料

就職説明会資料、同窓会誌、業界開業セミナー案内

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

①課題

国家試験合格率が一つの指標であるが、卒業後の進路や実情についても把握、検証をしていく。元々、就職活動という概念がなかった業界にあって、積極的に求人先の確保に務めており、在校生はもとより卒業生に対しても就職担当による就職指導を行ってはいる。しかし「就職説明会」も会場のキャパシティの関係上業者数を縛らざるを得ない状況である。この業界は技術力向上のための転職が当たり前の業界であり、転職活動が活発であるので、卒業生の勤務先追跡調査は困難を極めている。

②今後の改善方策

卒業生への就職先の情報などの広報が不足していると思われるので、今後は改善して行きたい。また更に求人先を確保するために就職説明会の回数も増やして行きたい。また卒業生の動向についても出来る限り調査して行きたい。

③根拠資料

就職説明会資料、同窓会誌、業界開業セミナー案内

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 (3) 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	(4) 3 2 1

①課題

施設および設備は老朽化が目立ってきているため、これまで補修工事等も行われてきているが、まだまだ不足している部分もあるので今後修理、補修、設備の取り換え等が必要である。

②今後の改善方策

防災については年に一度の防災訓練等も行っているが、AEDを始め防災に対する備えが十分とはいえないので今後充実させて行く。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

適切に募集活動を行っていたが、なかなか結果に結びつかず、2019年度は募集を停止することになった。

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

自己点検、自己評価の遅れは否めない。今後は早急に第三者評価を行うことが必要である。

②今後の改善方策

第三者評価を行う。

③根拠資料

柔道整復師学校養成施設指定規則

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

①課題

地域貢献については現在公開講座を行うのみとなっているので、今後は違う形のものも行って行きたい。

②今後の改善方策

地域のスポーツ行事等に救護班を派遣して行くようなことを検討実施する。

③根拠資料

2科合同学術大会（公開講座）パンフレット

④特記事項

行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：学校法人行岡保健衛生学園

(行岡医学技術専門学校、大阪行岡医療専門学校長柄校)

所 属：学園事務局

記入者：山田 豊

1. 学園の創設

学校法人行岡保健衛生学園（以下、「本学園」という。）の創設は、昭和7年に大阪接骨学校として認可され、翌年の昭和8年に大阪接骨学校を開校したことを起源としている。また、大阪接骨学校の実習先として、昭和9年に大阪接骨学校附属行岡外科病院（現在の行岡病院）を開設した。

本学園創設以来、現在に至るまで80余年にわたり、社会の要請に応える医療技術の人材を育成してきた。現在は行岡医学技術専門学校において看護師、歯科衛生士を養成し、大阪行岡医療専門学校長柄校において診療放射線技師、臨床検査技師、鍼灸師、整復師の養成を行っている。理学療法士に関しては、昭和45年より専門学校として養成してきたが、社会の要請に応えるべく平成24年に大阪行岡医療大学を開学し、大学教育をスタートさせた。本学園のこれまでの卒業生は2万人を超え、卒業生の多くは医療機関、行政機関、教育機関等でその中核として活躍している。

2. 建学の精神

本学園の建学の精神は、創設者である行岡忠雄博士による「医療は医師のみの力でなしえるものではない、多くの医療技術者との『協同』の上に成り立つものである。より良い医療を実現するには、良い医師と良い医療技術者は必要である。」との考えに立っており、これは現在の「チーム医療」に通ずる考え方であり、各学科においてはその建学の精神を基に、優れた医療技術者養成を目指して日々学生教育に精励している。

この建学の精神は、医療に従事するものに求められる多職種との協働及び連帯感を示したものであり、本学園では創立時からの建学の精神を礎として、患者様、家族、社会に対してよりよく幅広く適応するということを目的に、「適応力豊かな医療人の育成」を教育目標として掲げている。

(根拠資料)

- ・「仁の人」行岡忠雄博士（2018.3 発行）
- ・学校法人行岡保健衛生学園寄附行為
- ・学校案内
- ・学校要覧

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

○学校教育法等の法令を踏まえ、教育活動等の状況について自己評価の実施、結果公表、第三者による検証が喫緊の課題である。

○業務改善、業務改革について組織横断的な検証が必要である。

②今後の改善方策

○自己評価、学校関係者評価の実施、結果の公表は2019年6月を予定している。

○業務改善による業務効率の向上、情報の共有、並びにトータルコストの削減を目的としてグループウェアの導入を検討している。将来的にはBPRの視点より、業務プロセス全体的見直しを図ることとする。

③根拠資料

○学校法人行岡保健衛生学園 規程集

○学校法人行岡保健衛生学園寄附行為

④特記事項

特になし

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

①課題

○学園の中長期計画に基づいた、基本金組入計画の検討が必要である。

(教育環境の整備の視点より2号基本金、学生支援の視点より3号基本金)

○経営安定の視点より、学生生徒等納付金収入の安定を図ることと併せて、寄付金、外部競争資金及び補助金等の獲得に対して、戦略的、継続的な取り組みが必要である。

②今後の改善方策

(文科省)

専修学校振興予算の獲得(実証研究事業等委託事業)

(厚労省)

教育訓練給付金講座の申請

(寄附金)

「特定公益増進法人」、「税額控除対象法人」認可申請(2019年度末予定)

③根拠資料

○平成29年度財務報告書(HP公表分)

○財務関連比率(事業活動収支計算書関係比率、貸借対照表関係比率)

④特記事項

○日本高等教育評価機構 評価報告書(2019.3月)

(基準5経営・管理と財務)

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

○学校教育法等の法令を踏まえ、教育活動等の状況について自己評価の実施、結果公表、第三者による検証が喫緊の課題である。

②今後の改善方策

○自己評価、学校関係者評価の実施、結果の公表は2019年6月を予定している。

③根拠資料

○厚生労働省指定養成施設 変更承認申請及び学則等変更届

○専修学校設置基準に関わる変更承認申請及び学則等変更届

○専門学校定例会議資料（自己点検評価及び無償化）

○理事会・評議員会議事録

④特記事項

特になし

(その他教育成果指標)

○平成31年度 入学試験結果 志願者数・入学者数

○各学科別国家試験合格率 推移

○平成29年度・平成30年度 退学・休学・留年状況

2019年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 2019年6月1日（土曜日）、6月4日（火曜日）

場所 大阪行岡医療専門学校長柄校

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 臨床検査科

評価者： 就職先、実習先

産業界

【講 評】

○教育理念・目標

「協同」の理念の下、各科ごとの特性や目的をホームページで公表している。

○教育活動

・学生に対して講義に関する詳細なアンケート調査を実施し、教育状況の把握に努めている。また、取得したアンケート情報は講師等にフィードバックされ、更なる教育の質の向上に活用されており適切である。

・臨地実習指導者会議を開催し、臨地実習における学校教育の外部評価を取り入れている。

○学修成果

就職試験時の内容・状況等の情報を学生から聴取し、翌年以降の就職試験対策のためのデータとして収集活用している。また、外部講師による就職対策説明会も開催され適切であるが、今後の更なる充実を期待したい。

○学生支援

・卒業生全体としての同窓会は開催されていない。就職率向上のための情報交換や人脈の場としても有用と考えるため、今後の検討を期待したい。

・医学知識の教育だけでなく、学外より講師を招き医療人としてのマナーや接遇に関する指導も行っている。

・就職については、求人担当者と担任とで相談にのり進路を決めている。

・成績、出席状況については担任から保護者に電話連絡をしている。

○教育環境

・1年次の早い段階で実際の検査施設での体験見学を実施し、また臨床検査技師会の教育セミナー等に参加させるなど、学習意識の維持向上に努めており適切である。

・2年次にはインターンシップを活用して学生の資格取得への意識を高めているが、対象は希望者のみである。臨地実習の前に、学生全員がインターンシップを活用するような指導や環境構築を期待したい。

○学生の受入れ状況

広報委員を中心に、学科教員が高校を訪問し学生の募集活動を行い、オープンキャンパスでも資格に関する事項や学科の特色について示されているが、更に学生および保護者の興味を深めるような内容・方法への工夫を期待したい。

○法令等の遵守

学校評価における問題点をしっかりと把握し、今後の改善活動を継続していただきたい。

○社会貢献・地域貢献

臨床検査技師会技師会の研修会場として施設を提供しており、また臨床検査技師会に協力して献血会場でのボランティア活動も行っている。

以 上

2019年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 2019年6月1日(土曜日)、6月4日(火曜日)

場所 大阪行岡医療専門学校長柄校

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 放射線科

評価者： 実習先・卒業生

【講 評】

- 原理を学ううえで古い装置が必要な場合もあるが、全体的に装置が古く医療現場との差が大きい。
- 単位数が多く、土曜日まで授業を行っているので、時間的な余裕が少ないと思われるが、ボランティア活動や地域貢献をもう少し行った方が良い。

【課 題】

- エックス線装置など高額な装置を早急に入れ替えることは難しいので、しっかりと計画を立て更新していく。
- 幾つか「不適切」の評価があるので、それらの項目を改善する。

以 上

2019年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 2019年6月1日(土曜日)、6月6日(木曜日)

場所 大阪行岡医療専門学校長柄校

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 鍼灸科

評価者： 産業界、卒業生

産業界

【講評】

[講評・感想]

- ・関係者評価は、定期的に行われるのか。
高等教育無料化のための準備であるので、定期的の実施していく予定です。
- ・評価の質問が具体性に欠けて、解釈が難しかった。
- ・評価2などをつけた質問について、今後の動向を知りたい。

(鍼灸師会からのニーズ)

- ・認知症に対する擦過鍼を実施、流布している。(吉村春生先生 鍼灸師会理事)
現場で使える研修会の実施。介護予防鍼灸師。
学生さんも体験されてはどうか。
- ・スポーツ大会への協力
2021 ワールドマスターズ (会場：西日本)
堺市…サッカー、フットサル会場 岸和田市…自転車競技会場 連携予定
ボランティア参加して欲しいとのこと (ボランティア研修会 有)
- ・大規模災害発生時の対応
災害発生時のマニュアル作り 災害医療鍼灸師の育成 (災害医療センターでの研修会)

[講評・感想]

国家試験の合格率が下がっていることから、問題が難しくなっている印象をうけた。
中途退学者がいることに驚かれていた。

以 上

2019年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 2019年5月30日(木曜日)

場 所 大阪行岡医療専門学校長柄校

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 整復科

評価者： 産業界、卒業生

評価内容と意見

(1) 教育理念・目標

意見：過去は整復師界の東大と言われていた行岡だが、今現在はそのような評判も聞かなくなっている。他に誇れる学校づくりを目指して欲しい。

(2) 学校運営

意見：行岡は真面目さではどこにも負けないと思っているので大丈夫だと判断している。

(3) 教育活動

意見：指導要領が改正されカリキュラムも新しくなったので教育は充実していると思うが、業界との密な連携や外部評価という点では疑問が残る点もある。今後そういう部分でも積極的に改革して行ってくれたら嬉しい。

(4) 学修成果

意見：国試の合格率も全国平均を上回っており、成果は上がっているとは言え常に100%を狙って行って欲しい。

(5) 学生支援

意見：自分たちの学生時代は全員が接骨院で修業しており、バイト先の接骨院で経済的支援が受けられることも多かったが、現在はそれも難しくなっている。学校独自の支援体制が出来れば良いと思う。

(6) 教育環境

意見：教室のエアコンが長期間故障したまま修理されていない教室があったりするが、修理はしないのか？学生の学習環境を整えるということは最重要ではないかと思うので、早急に対応した方が良い。

(7) 学生の受け入れ状況

意見：今回募集停止になったことは卒業生としても痛恨の極みである。

(8) 法令等の順守

意見：他校においてはすでに第三者評価も終わっているとのことを聞いて驚いた。早急に行岡も第三者評価を受けるべきである。

(9) 社会貢献・地域貢献

意見：接骨院にとって地域密着は必須と言える。その点からも学生時代から地域貢献や社会貢献の思いを根付かせるのは重要である。

その他

柔道整復師養成の先駆けとなった行岡の火が消えないことを祈るのみである。

以上